

2008年度第2四半期 連結決算ハイライト（米国会計基準）

2008年度第2四半期の概要

（単位：億円 △損失、減少）

- ・「当期純利益」は、前年同期比454億円増益の766億円。四半期単独では、(株)オリエンコーポレーション（以下、オリコ社）の資本政策に伴う308億円の利益があった前年度第1四半期の859億円に次ぐ水準。但し、オリコ社関連の特殊損益が308億円あったことを考慮すると、実質的には当四半期の利益が過去最高水準と言える。加えて、「売上総利益」、「営業利益」、「税引前利益」、「実態利益」も過去の全ての四半期を通じて過去最高。
- ・「セグメント別の当期純利益」は、金属・エネルギー、生活資材・化学品、金融・不動産・保険・物流においては前年同期比で548億円の増加となり、前年同期比で悪化したセグメント（その他及び修正消去を含む）の合計である△93億円を大幅に上回る。金属・エネルギーでは257億円、繊維、食料、生活資材の生活消費関連でも24億円の増益。
- ・事業会社損益は353億円増加の546億円。海外現地法人損益は17億円増加の85億円。海外事業損益は465億円当期純利益766億円に対し、61%と四半期単独では目標である60%を上回った。

(注1)前年同期のオリコ社関連の特殊要因は、以下のとおりです。

当社保有のオリコ社普通株式に係る評価損	2007年度		
	連結損益計算書における認識項目		
	持分法による投資損益	法人税等	当期純利益
	第2四半期	第2四半期	第2四半期
	△262	107	△154

経営成績	2008年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	前年同期比		主たる増減要因
			増減額	増減率(%)	

収益	7,678	7,538	+	140	+	1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・収益: 金属資源・エネルギー価格の上昇、飼料穀物・油脂等の食料原料、食品流通関連における取扱の増加等 ・売上総利益: (増減分野及び商品等) 「オペレーティングセグメント情報」参照 繊維/減益: 子会社数社の連結除外、衣料品市況低迷等 機械/減益: 船舶取引増加するも北米自動車・建機事業が不調 宇情マ/減益: 国内携帯電話販売事業の増益あるも、国内情報産業関連事業が不調 金エネ/増益: 金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量増加に加え、鉄鉱石販売に係る新価格適及適用により増益 生化/増益: 化学品価格の高値安定、北米住宅資材関連事業堅調 食料/増益: 飼料穀物・油脂等の食料原料、食品流通関連での取扱増加 金不保物/増益: 前年同期の長期開発用不動産に係る評価損計上の反動 ・販売費及び一般管理費: 業容拡大に伴う経費の増加及び退職給付費用の増加等 ・貸倒引当金繰入額: モンゴル向け債権に係る貸倒引当金の繰入△108等 ・金融収支: 金利収支+11(米ドル金利率低下等)、受取配当金+17(LNG関連+10) ・投資及び有価証券に係る損益: 株式売却損益△49、株式評価損+8、事業整理損+28 ・固定資産に係る損益: 固定資産評価損△10等 ・その他の損益: 為替損益の悪化△40等 ・持分法による投資損益: オリコ社(注1)、ITOCHU Minerals & Energy of Australia Pty Ltdの持分法による投資損益+21、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)+4、(株)ファミリーマート+3、日伯紙パルプ資源開発(株)△2等
売上総利益	2,943	2,557	+	386	+	15.1%	
その他の収益(△費用)							
販売費及び一般管理費	△ 1,865	△ 1,825	△	40	+	2.2%	
貸倒引当金繰入額	△ 117	△ 14	△	103	-	-	
金利収支	△ 72	△ 83	+	11	△	13.7%	
受取配当金(金融収支)	75	57	+	17	+	30.0%	
投資及び有価証券に係る損益	(3)	(△ 26)	(+)	29	(-	
固定資産に係る損益	△ 9	5	△	13	-	-	
その他の損益	△ 19	△ 5	△	14	-	-	
その他の収益(△費用)計	△ 4	17	△	21	-	-	
税引前利益	△ 2,011	△ 1,848	△	163	+	8.8%	
法人税等	932	709	+	223	+	31.5%	
税引後利益	△ 301	△ 240	△	61	+	25.3%	
少数株主持分損益	631	468	+	163	+	34.7%	
持分法による投資損益	△ 26	△ 36	+	10	△	28.7%	
当期純利益	160	△ 122	+	281	-	-	
(参考)	766	311	+	454	+	146.1%	
売上高	34,913	31,301	+	3,612	+	11.5%	
(売上総利益率)	(8.4%)	(8.2%)	(+)	0.3%	/	-	
営業利益	961	717	+	244	+	34.0%	
実態利益	1,241	585	+	656	+	112.3%	

実態利益＝売上総利益＋販売費及び一般管理費＋金融収支＋持分法による投資損益

オペレーティングセグメント情報	売上総利益(注2)			当期純利益			【当期純利益】主たる増減要因 (注2) 売上総利益については、「経営成績」の「主たる増減要因」参照
	2008年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	前年同期比	2008年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	前年同期比	

繊維	251	300	△	49	34	45	△	11	営業利益の減少に加え、前年同期の投資有価証券売却益の反動等により減益
機械	248	286	△	37	27	102	△	75	営業利益の減少により減益
宇宙・情報・マルチメディア	328	345	△	16	10	26	△	16	持分法投資損益等の好転あるも、営業利益減少により減益
金属・エネルギー	682	343	+	339	541	284	+	257	営業利益並びにLNG関連の受取配当金の増加及び持分法投資損益の増加により増益
生活資材・化学品	352	320	+	32	80	58	+	22	営業利益の増加等により増益
食料	892	854	+	39	68	67	+	1	前年同期の投資有価証券売却益の反動あるも、営業利益及び持分法投資損益の増加等によりほぼ横ばい
金融・不動産・保険・物流	99	44	+	54	43	△ 225	+	268	前年同期の金融関連事業の評価損の反動により増益 ※(注1)参照
その他及び修正消去	90	65	+	24	△ 37	△ 46	+	9	営業利益の増加に加え、持分法投資損益の好転により増益
合計	2,943	2,557	+	386	766	311	+	454	営業利益については、「平成21年3月期 第2四半期決算」JP16-17をご参照ください。

当期純利益の会社区分別内訳	2008年度 第2四半期			2007年度 第2四半期			前年同期比				
	単業会社	海外現地法人	連結修正	当期純利益	内、海外事業損益(注4)	(海外事業損益比率)	(除、オリコ社特殊要因)(注5)	2008年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	前年同期比	
単業会社	167	546	85	766	766	465	(61%)	766	311	+	454
海外現地法人	△ 32	546	85	766	766	465	(61%)	766	311	+	454
連結修正	△ 32	546	85	766	766	465	(61%)	766	311	+	454
当期純利益	766	546	85	766	766	465	(61%)	766	311	+	454

(注3) オリコ社の取込損益に付随する税効果の処理を含めて表示しております。
(注4) 海外事業損益は、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計に、親会社の海外支店及び実質海外の国内事業会社の損益を加えたものです。
(注5) 2007年度第2四半期に含まれるオリコ社の取込損益に係る特殊要因については、(注1)をご参照ください。